

## 新規受託開始及び受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託開始及び受託中止をさせていただくこととなりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

### ■新規受託開始項目および実施日

【実施日】2022年 1月 4日(火) ご依頼分より開始

項目コード	検査項目	採取量 提出量	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)
4359	抗カルジオリピン IgG 抗体	血液 2.0 血清 0.3 (mL)	A	冷蔵	3~5	232 免疫 ※	ELISA	12.3 以下 (U/mL)
4360	抗カルジオリピン IgM 抗体							20.8 以下 (U/mL)
4368	抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG 抗体						CLEIA	0.7 未満 (U/mL)
4369	抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM 抗体							17.5 以下 (U/mL)

※抗カルジオリピン  $\beta_2$ グリコプロテイン I 複合体抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※抗カルジオリピン IgG 抗体、抗カルジオリピン IgM 抗体、抗  $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG 抗体及び抗  $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM 抗体の検査を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。

### ■受託中止項目及び最終受付日

【最終受付日】2022年 3月 30日(水) ご依頼分をもって受託中止

項目コード	項目名	検査案内 掲載ページ	備考
3951	抗カルジオリピン抗体 IgG	P29	新規項目受託開始に伴い、 受託を中止させていただきます。
3080	抗カルジオリピン抗体 IgM	未掲載	

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、  
または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

## ● 抗カルジオリピン IgG 抗体、抗カルジオリピン IgM 抗体、 抗β2 グリコプロテイン I IgG 抗体、抗β2 グリコプロテイン I IgM 抗体

抗リン脂質抗体症候群 (APS) の診断補助に有用です。

抗リン脂質抗体症候群 (Anti-Phospholipid Syndrome: APS) は、抗リン脂質抗体と関連する自己免疫血栓症あるいは妊娠合併症をきたす疾患です。APS の臨床上の問題点は、この疾患を定義する抗リン脂質抗体の多様性から、どの抗リン脂質抗体を陽性として判断するか統一されていないことでした。

国際血栓止血学会が定める APS 分類基準 (札幌クライテリア・シドニー改変) では、抗リン脂質抗体の検査対象として、ループスアンチコアグラントに加え、抗カルジオリピン抗体および抗β2 グリコプロテイン I 抗体の IgG 型と IgM 型が含まれました。これらの検査対象は自己免疫血栓症と妊娠合併症の発症に良く相関することが知られ、基準に含まれる全ての抗体の検査実施が推奨されています。

本項目は、国際血栓止血学会が定める分類基準に準じた検査であり、APS の診断補助や治療効果、再発の予知などに有用です。

### ▼疾患との関連

抗リン脂質抗体症候群 (APS)  
全身性エリテマトーデス (SLE)

### ▼関連する主な検査項目

抗カルジオリピンβ2 グリコプロテイン I 複合体抗体  
ループスアンチコアグラント

### —参考文献—

小川 昌起, 他: 医学と薬学 78(4):447~459, 2021. (検査方法参考文献)

阿部 靖矢, 他: 血栓止血誌 29(3):294~306, 2018. (臨床的意義参考文献)